

2019年1月

プレスリリース No.2

水戸芸術館ACM劇場プロデュース 水戸芸術館開館30周年記念事業

水戸芸術館  
ART TOWER MIT

『宮崎駿の雑想ノート』より

# 最貧前線

原作：宮崎駿 脚本：井上桂 演出：一色隆司

宮崎駿オリジナル作品 国内初の舞台化

主要キャスト決定



(c)Studio Ghibli

出演

内野聖陽  
風間俊介  
溝端淳平

佐藤 誓  
加藤 啓  
藤野友也  
福山康平  
塩谷 亮  
前田旺志郎

ベンガル ほか

**2019年8月末～10月**

**水戸芸術館ACM劇場 世田谷パブリックシアターなど全国8か所で上演**

宮崎駿が炙り出した太平洋戦争の歴史悲話『最貧前線』。小さな漁船に乗組んだ男たちが、海の最前線で強大なアメリカ軍に立ち向かった。平和の願いがこめられた『最貧前線』が実力派俳優の参加を得て、次の世代へ語り継ぐべき物語として、舞台に立ちあがります。

## 宮崎駿のオリジナル作品 国内初の舞台化決定

水戸芸術館 ACM 劇場は、2019 年夏、**最貧前線**(『宮崎駿の雑想ノート』より) を舞台作品として上演します。宮崎駿オリジナル作品が国内で舞台化されることは、これが初めてのことです。水戸芸術館のほか、東京では世田谷パブリックシアター、ほか国内 6 か所の公共劇場を巡演予定です。

### 舞台版『最貧前線』のストーリー

太平洋戦争末期、小さな漁船・吉祥丸に徴用の知らせが届く。ほとんどの軍艦を沈められた日本海軍は、来襲するアメリカ軍の動静をなんとか探ろうと、漁船を海に駆り出して、海上で見張りをさせようとした。

特設監視艇となった吉祥丸に乗り込んだのは、元々の漁船の船長(内野聖陽)と漁師たち、そして艇長(風間俊介)とその副官などの将兵たち。航海経験に乏しい軍人たちは、鯨を敵潜水艦と間違えたり、嵐の予兆を察知できなかったり、海の職人である漁師たちとことあるごとに対立してしまう。やがて軍人たちは、漁師たちの知識や行動力に一目置くようになり、徐々にお互いに信頼感を芽生えさせていく。しかし、戦況は厳しく吉祥丸は海の最前線ともいうべき南方の海域に、わずかな武器を携えて急きょ派遣されることになってしまう。果たして、吉祥丸は帰って来られるのだろうか・・・。

### 『最貧前線』とは

宮崎氏が模型雑誌「月刊モデルグラフィックス」に 1980~90 年代に不定期に連載した『宮崎駿の雑想ノート』。同作は、戦争の時代に兵器と人間が織りなしたドラマを描いた、連作絵物語&漫画です。そこからは、長編アニメとなった『紅の豚』が生まれましたが、この『最貧前線』はその中の 11 番目の物語です。

### 『最貧前線』の平和のメッセージ

『最貧前線』はわずか 5 ページの小品ながら、氏らしいユーモアとスペクタクルを併せ持った内容です。また、最後のコマにある「平和が何よりだノオ…」に込められた平和へのメッセージはかぎりなく重く、内容的には長編に劣らない読み応えのある作品です。氏はこの自作について、原作単行本巻末のインタビューで、当時こう語っています-「これはね、描き終わってもまだ終わってないんです、気持ちの中で。(中略)つまり“絶対に死なないぞ!”と、なんとか犬死をしないで、“また魚をとるんだ!”っていうね、そういう人達が出てきて、それを全うする話をね、僕はやってみたいと前から思ってたんです…。」

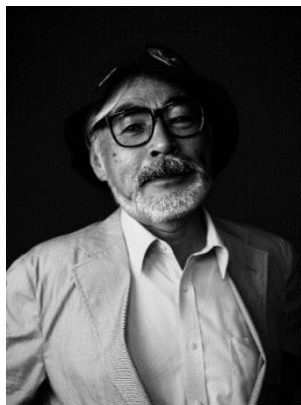
## 艇長役：風間俊介（かざま・しゅんすけ）

1997年ジャニーズ事務所に入所。99年『3年B組金八先生』で日刊スポーツドラマ グランプリ最優秀新人賞を受賞。ドラマ・映画・バラエティや舞台で幅広く活躍。『ZIP!』ではメインパーソナリティーも務めている。近年の出演作に、ドラマ『それでも、生きてゆく』『純と愛』『陸王』『サバイバル・ウェディング』『記憶捜査』『やすらぎの刻〜道〜』、映画『コクリコ坂から』『鈴木先生』『猫なんかよんでもこない。』『後妻業の女』、舞台『蒲田行進曲』『ベター・ハーフ』など。

### 【風間俊介コメント】

この舞台が始まる頃には、新しい『時代』が始まっていると思います。新時代を生きる全ての人に、伝えたいこと、伝えていかななくてはいけないこと、その両方を届けられるよう、全力で演じようと思います。是非、劇場に観に来てください。

## 原作：宮崎 駿（みやざき・はやお）



1941年東京都生れ。学習院大学卒業後、東映動画（現・東映アニメーション）入社。日本アニメーションなどを経て、1985年にスタジオジブリ設立に参加。作品に『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『紅の豚』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』『風立ちぬ』など。著作に『シュナの旅』『出発点』『折り返し点』『半藤一利と宮崎駿の腰抜け愛国談義』『宮崎駿の雑想ノート』『トトロが生まれたところ』などがある。

## 脚本：井上桂（いのうえ・かつら）

2017年4月、水戸芸術館 ACM 劇場芸術監督に就任。1996年、新国立劇場開場時から演劇部門のプロデューサーとして活動。日本芸術文化振興会プログラム・オフィサーなどを経て現在に至る。台本化にあたっては、原作のエピソードを踏まえ、様々な文献から当時のエピソードを掘り起し、新たな物語展開や登場人物の性格付けを行った。

## 演出：一色隆司（いっしき・たかし）

NHK エンタープライズ制作本部ドラマ番組エグゼクティブ・ディレクター。時代劇『茂七の事件簿』『アフリカの蹄』『坂の上の雲・留学生』『そこをなんとか1・2』『紙の月』『精霊の守り人』シリーズ第三部、NHK正月時代劇『家康、江戸を建てる』など監督。2016年に『令嬢と召使』で舞台初演出。18年5月には『人形の家』を演出した。

## 公演概要

水戸芸術館開館 30 周年記念事業

『宮崎駿の雑想ノート』より

# 最貧前線

原作 宮崎 駿 「最貧前線」(宮崎駿の雑想ノート(大日本絵画刊)より)  
脚本 井上 桂 水戸芸術館 ACM 劇場芸術監督  
演出 一色隆司 NHK エンタープライズ エグゼクティブディレクター  
原作掲載 月刊モデルグラフィックス  
協力 スタジオジブリ  
出演 内野聖陽  
風間俊介  
溝端淳平  
佐藤誓 加藤啓 萩野友也 福山康平 塩谷亮 前田旺志郎  
ベンガル ほか  
上演日程 2019年8月末～10月  
公演会場 水戸芸術館 ACM 劇場 世田谷パブリックシアターのほか  
神奈川、愛知、新潟、長野、兵庫の全国8会場で上演

ー公演会場、主催者、チケット情報などは、後日発表しますー

☆ 宮崎駿氏オリジナル作品の国内カンパニーでの舞台化は初めて。スタジオジブリ作品は過去に、『おもひでぽろぽろ』(高畑勲監督作品)が2011年にわらび座(栗山民也演出)で、『もののけ姫』が2013年4月英国ホール・ホグ・シアターで舞台化された。なお『魔女の宅急便』の舞台化は、角野栄子氏の原作小説に基づきいずれも行われている。

☆ 水戸芸術館

水戸市の市制100周年を記念して設立され、初代館長は吉田秀和、二代目館長には小澤征爾が就任。ACM 劇場のほかにコンサートホールATM、現代美術ギャラリーを有する。2019年は開館30周年となる。

### 公演内容に関するお問い合わせ

◇ 水戸芸術館ACM劇場 TEL: 029-227-8123

担当: 井上桂 [katsura@arttowermito.or.jp](mailto:katsura@arttowermito.or.jp) 080-6504-7026

### 掲載に関するお問い合わせ

◇ 水戸芸術館広報係 TEL: 029-227-8111

担当: 川崎、鴨志田